

開催趣旨

我が国の温室効果ガス総排出量は1990年度から大幅に増加している一方で、2030年度の削減目標では2013年度比26%削減することとしており、特に家庭部門は約4割削減の見通しを立てていることから、効果的な削減対策の実施が喫緊の課題となっています。

環境省では、家庭からのCO₂排出実態やエネルギー消費実態等を詳細かつ継続的に把握し、削減対策の検討等に幅広く活用すること等を目的として、政府統計の整備に向けた検討を進めており、平成24年度から25年度にかけて及び26年度から27年度にかけて統計法に基づく一般統計調査として、試験的な調査を実施しました。これらの結果等を踏まえ、29年度から本格調査を実施します。

本シンポジウムでは、試験調査を通じて得られた成果を共有するとともに、温暖化対策への活用や統計の改善について議論するため、基調講演、行政・研究者・温暖化対策推進者によるパネルディスカッション及び関連報告を行います。

プログラム

時間	プログラム
12:30	開 場
13:00	開 会
13:05 (5分)	開会の挨拶 環境省
13:10 (30分)	我が国の地球温暖化対策の概要 ～家庭部門を中心に～ 名倉 良雄 環境省地球環境局総務課 低炭素社会推進室長
13:40 (65分)	基調講演 中上 英俊 株式会社住環境計画研究所 代表取締役会長
14:45 (30分)	家庭部門のCO ₂ 排出実態統計調査(家庭CO ₂ 統計)の紹介 水谷 傑 株式会社住環境計画研究所 主任研究員
15:15 (15分)	休 憩(15分)
15:30 (120分)	パネルディスカッション ●パネリスト 名倉 良雄 環境省地球環境局総務課 低炭素社会推進室長 澤木 勉 横浜市温暖化対策統括本部企画調整部調整課 企画担当課長 川原 博満 全国地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 服部 乃利子 静岡県地球温暖化防止活動推進センター ゼネラルマネジャー 太田 勇 株式会社ミサワホーム総合研究所 環境エネルギーセンター長 西尾 健一郎 一般財団法人電力中央研究所 社会経済研究所 主任研究員 ●コーディネーター 鶴崎 敬大 株式会社住環境計画研究所 研究所長
17:30	閉 会